



※ホームページにも掲載しています

学習の発表会に向けて

～練習は本番のように、本番は練習のように～

10月10日（土）の学習の発表会に向けて、各学年の練習に熱気がこもっています。子供たちの発達段階に合わせて、国語や音楽等の教科や総合的な学習の時間等に学習していることを体育館の大きなステージで表現します。台詞は、日頃出すことがないような大きな声でないと観客には伝わりません。台詞を言うだけでなく身振りや手振りなどの振り付けも大事です。また、歌や演奏、ダンス等も子供たちの自己表現の大事な機会となります。緊張してドキドキしながらステージに立つこと、演技や演奏がうまくいって大きな拍手を受けることを通して自己有用感や自己肯定感を高めるなど、子供を成長させる大事な学習と考えています。

子供たちがつくったスローガン「みんなが主役!!本チャレで一人一人がかがやく大門小」のとおり、キラリと光る演技や表現で、主役となってくれることを願っています。ご家庭での励ましと賞賛をよろしくお願いします。



豊かなスポーツライフを目指して ～今年度の持久走について

体づくり運動（持久走）について、昨年度までは「チャレンジランニング記録会」として、体育科の学習の一環として全校児童が参加して持久走の記録を競ってきました。

今年度からは、体づくり運動（持久走）において、全校児童参加の大会という形はとらず、体育の時間にタイム走（決められたタイムを無理のない速さで走る）を行います。文部科学省の定める学習指導要領では、体育科では、豊かなスポーツライフを目指して「する・見る・知る・支える」といった資質を育てることをねらいとしています。タイム走では、低学年は「無理のない速さでかけ足を2～3分程度続けること」、中学年は「無理のない速さでかけ足を3～4分程度続けること」、高学年は「無理のない速さで5～6分程度の持久走をすること」と位置づけられています。

ただし、児童の中には歴代の記録に挑戦したいという意欲をもって練習している子もいるので、体育委員会主催の児童会活動として、希望者が参加するという形で「チャレンジランニング記録会」を行います。

尚、学校行事ではなく、児童会活動として行いますので、保護者の方の参観はご遠慮いただきたいと思います。ご理解のほど、よろしくお願いします。

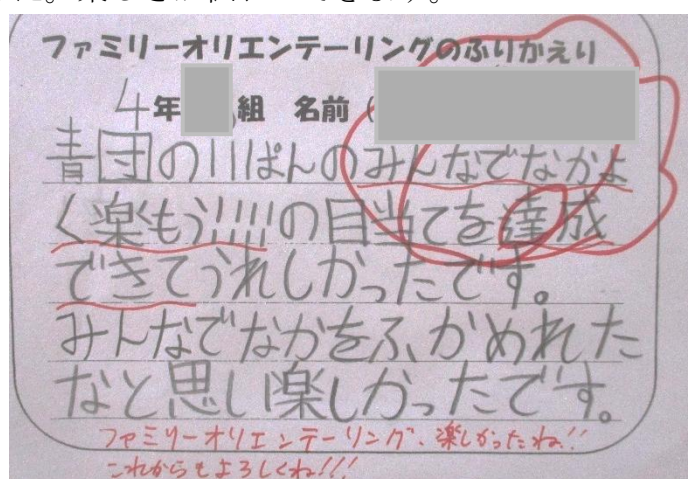


本チャレでウェルビーイングな大門小を目指して 絆を深めたファミリーオリエンテーリング、ファミリーランチ

9月25日（金）快晴の下、ファミリーオリエンテーリングを行いました。大門小の伝統となっている行事で、いつも一緒に掃除をしている縦割り班（ファミリー班）での交流を図るイベントです。今年度は、楽しく、子供たちが主体的に動ける活動となるように、6年生がポイントでの遊びやミッションを考えてくれました。班の仲間と歌を歌ったり、ゲームで協力したりすることを通してみんな笑顔になりました。

ファミリーランチでは、ファミリー班でお弁当給食を食べました。一緒におしゃべりをしながら食べることで、いっそう絆が深まりました。

次のような振り返りを書いてくれた子供がいました。楽しさが伝わってきます。



水槽のえさやり体験

飼育委員会では、委員会以外の子供たちも魚の餌やりができる体験会を開いています。餌をやると魚たちが、すぐに集まってきて勢いよく食べ始めます。とてもかわいいです。



みんなでほかほか言葉を使おう！！～学習の発表会バージョン～

思いやり委員会では、みんなが言われてうれしいほかほか言葉をカードに書いて伝える活動を企画しています。学習発表会での友達のがんばりや励ましを互いに伝え合うことで、子供たちが温かい言葉がけやよりよい関係づくりができるように、思いやり委員会がアイデアを生かして取り組んでいます。